

2024年度第3回音環境運営委員会議事録

記録：佐藤逸人（幹事）

日時：2024年9月17日（火）17:00～19:00

場所：Zoom を用いたリモート会議

出席者：池上雅之（主査）、小柳慎一郎（幹事）、佐藤逸人（幹事）、曾田祐、上野佳奈子、平光厚雄、安田洋介、田中学、古賀貴士、星和磨、川井敬二、坂本慎一、羽入敏樹、佐久間哲哉、辻村壮平、富田隆太、中澤真司、佐藤洋（敬称略）

欠席者：濱田幸雄（敬称略）

提出資料：

資料3	2024年度第3回音環境運営委員会__議事次第
資料3-0	2024年度第1回音環境運営委員会議事録(案)
資料3-1	第2回環境工学本委員会資料
資料3-2	AIJ2024若手優秀発表審査結果
資料3-3	アンケート配布用リーフレット
資料3-4	小委員会WG活動報告入力シート

1) 前回議事録の確認

- ・ 原案通り承認された。（資料3-0）

2) 環境工学本委員会の報告（資料3-1）

- ・ 2024年9月17日に開催された第2回環境工学本委員会について池上主査から報告があった。（資料No. 3-1）
 - 建築士資格に係る実務経験の対象実務：運営委員会で集約して事務局に提案する。追加したい対象実務があれば、10/20までに幹事団に連絡する。
 - JAABEとJARの投稿カウント：予算配分の参考資料となる。各小委員会の分野で投稿があれば11/15までに幹事団に連絡する。
 - 学会刊行物における著作者人格権不行使の同意書：いくつかの運営委員会からコメントがあったが、最終的に異議なしとして承認された。今後は刊行前に同意書（紙媒体、要署名・押印）を提出することになる。
 - 竹中育英会建築研究助成金交付者が決定：音環境からは1名（大分大学大学院の境さん）。
 - 委員会等における女性会員の参画機会の拡大：積極的に登用するようお願いがあった。
 - 日本建築学会大賞・文化賞・教育賞の推薦：大賞と文化賞は11/13まで必要書類をストレージにアップロードする必要あり。教育賞はすでに期限が過ぎている（9/10）。→ 新規審議の案件へ
刊行予定：2025年度に集合住宅の音環境性能規準・設計指針AIJESが刊行予定。刊行遅延による仕切り直しの事例が2件あった。
 - AIJESの改訂等の確認：音環境関連は2編（学校音響とスピーチプライバシー）。いずれも「確認」（改訂・廃止の必要なし）。

3) 審議事項

審議済みの案件について池上主査から報告があった。

- ・ a) 既刊AIJESの見直し
 - 環境工学本委員会の報告にもある通り、学校音響とスピーチプライバシーともに「確認」（改訂・廃止の必要なし）で事務局に連絡した。
- ・ b) 意見交換会（企画広報WG）
 - 2025/3/3（月）13:30-17:00@建築会館で決定。

新規審議の案件

- ・ c) 日本建築学会大賞業績候補推薦，文化賞候補推薦の件
 - 今年度は音環境運営委員会からの推薦は行わないことを確認した。
- ・ g) 日本建築学会大賞候補の協力依頼の件
 - 第2回環境工学本委員会において 3名の業績紹介があった。今後この中から1名を選ぶ投票が，環境工学本委員会の委員により行われる。
 - 大賞を受賞できなかった候補者は繰り返して推薦されることが多い（環境工学分野の受賞者は例年多くても1名程度である）。
 - 富田委員より，環境振動運営委員会から推薦のあった法政大学後藤剛史先生の業績紹介があった。
 - 今年度は音環境運営委員会からの推薦を行わないこと，過去に音環境運営委員会からの推薦者に対して環境振動運営委員会からの投票協力があったことを踏まえ，今年度は音環境運営委員会として後藤先生に投票することが承認された。
- ・ d) 若手優秀発表賞の対象者決定の件（資料3-2，学会オンラインストレージへの保存なし）
 - 採点結果に基づいて対象者17名から2名を推薦することが承認された。
- ・ e) 2025年度大会細分類・細細分類の件（11/20事務局提出締切）
 - 要望があれば，各小委員会で取りまとめて11/10までに幹事団に提出する。
 - 要望があった場合はメール審議する。
- ・ f) 2025年度大会OSの件（11/20事務局提出締切）
 - 集合住宅小委員会が検討中。詳細がまとまり次第メール審議。
- ・ h) アンケート配布の協力依頼の件（国総研・平川さん，資料3-3）
 - 子育てに対する望ましい集合住宅の遮音性能の調査協力の依頼があった。
 - 10/18締切
 - 実務者が対象とあるが，アカデミック研究機関の研究者も対象。
 - 音環境運営委員会傘下の小委員会，WGメンバーに協力依頼文書を配布することが承認された。

4) 各小委員会・WG の活動報告

① 固体音小委員会（平光）

- ・ 今年度第2回を8/6に開催。
- ・ インピーダンスの予測計算の違いによる比較検討について、計算条件の確認を行った。
- ・ ゴムボール衝撃源の違いによる衝撃力特性の違いに関する共同測定について測定内容等に関する議論を行った。
- ・ 次回の開催について、日程調整中。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（濱田）

- ・ 年間活動計画に基づき個人のパーソナリティが遮音性能評価に及ぼす影響を検討するためのアンケート調査を実施し、現在解析中である。
- ・ また建築音響関連小委員会・WG意見交換会の内容を決定するため，主査，幹事でこれまでの活動状況をまとめている。
- ・ この2点について10月末の小委員会で協議する予定。

③ 建築音響測定法小委員会（會田）

- ・ 今年度第3回を8/2に開催
- ・ 「外装部材の風騒音調査ガイドライン検討WG」報告→コアメンバーでの方針すり合わせ中
- ・ 年度末意見交換会の発表方針の議論。→前身WGを含む当小委の活動経緯についても紹介する方針。
- ・ 測定に係る実務上のニーズについて委員アンケートを実施。計24項目の回答があり、実務問題対応や標準化に関するものが多い。根底には測定調査の実務における質向上の課題があり、測定精度向上等の研究開発とは別に、測定ノウハウ共有などによる業界の底上げも求められている模様。

- ・ アンケート結果は年度末意見交換会での発表内容に含める予定。

- ・ 次回第4回を10月2日開催予定

④ 室内音響小委員会（上野）

- ・ 第2回を7/4に開催
- ・ 室内音響啓発コンテンツ企画WGはnoteによる情報発信は軌道にのったので、今後について検討する。
- ・ 吸音AIJES公開意見交換会を踏まえた議論を行い、メンバー内の理解を深めた。
- ・ チュートリアルシンポジウムの企画案の検討を行った。
- ・ 第3回委員会：9/24に開催予定（チュートリアルシンポジウムに向けた階段室の吸音実験）。
- ・ 第4回委員会：10/4に開催予定（審議事項）。
- ・ 第84回音シンポジウム「建築空間の吸音設計に関するAIJES策定に向けて」を2025年3月4日（火）13:00～17:00、建築会館会議室＋オンラインにて開催予定。佐久間委員から実施計画書の案について紹介があった。近日中にメール審議。

⑤ 音響数値解析小委員会（安田）

- ・ 第2回委員会を9月13日に開催。
- ・ 伝送系データベースの整備：床衝撃音の可聴化データの作成方針について議論。
- ・ ハンズオンセミナー企画「汎用数値解析ソフトウェアを用いた室内音響シミュレーション」：スケジュールや実施計画書案について議論。実施計画書を11/27の環境工学委の審議にかけられるように11/20までに事務局に提出したい。9/17の音環境運営委において概要を説明し、その後のメール審議の許可をいただきたい。→ 安田主査から実施計画書の案について説明があった。
- ・ 床衝撃音の数値解析：特になし。今後再測定を行う予定。
- ・ ベンチマーク基盤プラットフォーム：特になし。
- ・ 音響インピーダンスデータ整備：吸音材料の音響特性データベースに現場測定データを加えるためのWebページ変更案のたたき台の提示と議論。
- ・ 第3回委員会：12月中に開催予定。

⑥ 音環境規準検討小委員会（田中学）

- ・ 今年度第2回委員会を7/31（水）に開催。
- ・ 吸音設計AIJESおよび集合住宅音環境AIJESの作成進捗状況について情報共有した。
- ・ 次の用途軸AIJESとして、事務所AIJESの作成に取り組む方針を決めた。2025年度に事前検討WG、2026年度に刊行小委員会を設置できるよう、準備を進めている。
- ・ 次回委員会は10/9（水）に開催予定。
- ・ 集合住宅音環境AIJES小委員会（主査：佐久間先生）では、前回（3/1）の音シンポジウム以降に議論を重ねた結果、重量床衝撃音など幾つかの項目を修正する方針とした。ついては、11/20（水）に公開意見交換会を開催し、内容を説明し、広く意見を伺う予定である。

⑦ 企画・広報 WG（星）

- ・ 7/12 第3回会議を開催、運営委員会で意見交換会の開催が承認されたことを報告。具体的な準備作業に向けて動くことを確認した。
- ・ 次回会議を9/20に開催予定。現地（建築会館）でレイアウトや進行などを決める予定。

⑧ 実用的遮音計算方法WG（古賀）

- ・ 3章（計算モジュール）、4章（課題例）のフォーマットを中心に議論継続中。
- ・ 次回（9/18）、実務に役立つ課題例を持ち寄って議論予定。
- ・ 来期、小委員会立ち上げ予定（企画刊行）

⑨ 子どものための音環境WG（川井）

- ・ 7月29日に音シンポジウムを開催し、110名（うち会員外50名）の参加を得た。
- ・ 次回10/21の予定：文部科学省の学校施設整備指針の制定に携わった東京都立大学の上野淳名誉教授のミニト

ークイベントを行う（9/18に上野委員から音環境運営委員会ML宛に参加要領等の周知あり）。

- ・ WGの今後のあり方について運営委員会のみなさまからご意見をいただきたい（子どもWGは今年度が2年目）。
→ 子どものための環境整備において音環境が果たす役割は世界的に注目されており、そのための議論を行う場は存続させるべきという意見があった。また、WGの目標は子どものための音環境を良くするための設計技術等の社会実装となるが、そのための手段を具体化しておくべきという意見があり、1つの可能性として学校音響AIJESの改訂・拡充について議論があった。学校音響AIJESは5年ごとの改訂を行わないこととなったため、長期的な検討が可能である。以上の議論を踏まえ、WGを継続（再設置）する方針となった。

⑩ 環境心理生理運営委員会（辻村）

- ・ AIJ大会では音環境分野と調整し、音環境分野の研究発表が無い日時に心理生理分野のセッションで音環境のセッションを組んだため、建築音響の方も心理生理セッションにご聴講頂けた。今後も上手く調整したい。

⑪ 環境振動運営委員会（富田）

- ・ 報告事項なし

⑫ 司法支援建築会議（中澤）

- ・ 大会関連行事として第13回司法支援建築会議建築紛争フォーラム「高層・超高層建築をめぐる建築紛争の現状と課題」を8月26日(月)、日本大学理工学部タワー・スコラにて開催した。
- ・ 本年は開催地が東京であることから、比較的建設が集中する高層・超高層建物に的を絞り、音環境・空気環境・光環境を対象に建築紛争の予防策と将来の対策方法に焦点を当てて広く議論した。参加者98名。
- ・ 次回普及・交流部会開催は10/8(火)。12月17日(火)開催予定の司法支援建築会議講演会について審議する。

⑬ ASJ建音研（上野）

- ・ 春季研究発表会のOS：関連2件
建築音響単独：床衝撃音の対策・評価に関する最近の話題
騒音振動との共催：環境振動に関する最近の研究動向

⑭ ISO（佐藤洋）

- ・ 10/24から1週間、ISO会議が開催。
- ・ 建築音響の分科会（ISO/TC43/SC2）の話題：Chairperson交代について投票中（候補者：Jeffrey Mahn@ National Research Council of Canada），音響管による測定法の規格の新しい提案が出ている。

5) その他

- ・ 特になし

6) 他学会・研究会の予定

- ・ 日本音響学会・建築音響研究会／騒音・振動研究会：時間の都合上割愛
- ・ 来年度の日本建築学会大会（九州大学，9/9～9/12）と日本音響学会秋季研究発表会（東北工業大学，9/10～9/12）の会期が完全に重複する。プログラム編成で考慮する必要がある。

7) 締め切り関係

- ・ 10/10 運営委員会締め切り：委員会活動計画等提出（7/24メール依頼済）

8) 今後の開催予定

2024年度 第4回 11月27日（水）17:00～19:00*

第5回 1月 7日（火）17:00～19:00

第6回 3月11日（火）17:00～19:00*

（*環境工学本委員会の日程変更の場合は、変更の可能性あり）

以上